

## 「市長と一緒にティータイム」対話概要

団体名	千葉県立袖ヶ浦高等学校
実施日時	令和2年7月22日（水）午後3時00分～4時30分
実施場所	市長室
出席者	千葉県立袖ヶ浦高等学校 8名 市長・秘書広報課 3名
テーマ	市政やまちづくりに関して高校生目線で考えたこと

### 【意見交換の概要】

#### 袖ヶ浦市の魅力

- ・高速バスなどの交通の便が良い。
- ・袖ヶ浦公園では、四季を感じることができる。
- ・きちんと挨拶ができる人が多い。
- ・都心へのアクセスが良く、公園もあり、自然に触れられる。

#### どうしたら住みたいと思うか。袖ヶ浦市の改善した方がいいところについて

- ・高速バスは便利だが、路線バス等の本数が少ないので、バスターミナルに行くまでが不便
- ・アウトレット関連からか、道路の渋滞が起きている。交通網の改善が必要
- ・高校数が少ない。高校を増やせば、若者の出入りが多くなる。



- ・東京ドイツ村のイルミネーションはとても人気だが、路線バスがある程度の遅い時間までないと、ゆっくり楽しむことができない。
- ・袖ヶ浦駅前が発展しているが、平岡方面は遅れている。住宅や商業施設ができると人口が増えると思う。
- ・駅前のローソンの交差点は、通勤通学の時間は生徒と車が多いことから、互いに通行しにくいので、歩道橋があると安全面でもいいと思う。
- ・道路にくぼみがあり、雨の日は水が溜まり、車が水をはねさせるので、改善をした方がいい。
- ・小学校の児童の通学については、以前は登校班があったが、今は一人で歩く子を見かける。児童の安全のため、登校班があるといいと思う。
- ・平川方面の一部では道路が狭く、すれ違いが困難な所がある。また、平成通りでは、道路に雑草が伸びていて、自動車と自転車との距離が近くなってしまうので、

改善をお願いしたい。

・袖ヶ浦駅前が発展しており、公共施設等もまとまっていることから、駅まで出てこられれば用が足りるので便利である。木更津は市役所が2つに分かれているから、一カ所では用が足らなくて不便



・イオンモールや映画館、学校など、若者が求める施設を作ると若者が住む。木更津に行かなくても用が足りる。

・袖ヶ浦市は待機児童が増えているけれども、それは人口が増えているからだと言えるので、良いこととも捉えられる。これに対応した施設を作れば人はさらに集まると思う。

・人口を増やすためには、袖ヶ浦市に興味を持ってもらうことが必要である。ドイツ村のイルミネーションや氣志團万博の際に、駅で住みやすさをPRしたらどうか。

・イオンモールやアウトレットなど、木更津市には、「木更津といえば」という施設がある。袖ヶ浦市にも、生の自然に触れられるようなレジャー施設等を作りPRしてはどうか。

## 知ってもらう方法

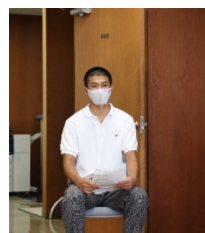
・中学生や高校生などの若い世代から、ツイッターやT i k T o kやインスタなど、SNSを使って発信をするのはどうか。

・市が発信する文章は固いものが多い。もう少し柔らかくするといいと思う。

・木更津市の花火大会のように、市で行う祭りや大会などがあると、ポスターやチラシに市の名前が入るのでPRになる。市の名前を前に出して行くことが必要

・袖ヶ浦市は自然が豊かなので、花に関連したお祭りのフラワーフェスなどがいいと思う。他の人に印象付けられるイベントがあるといい。

・ドイツ村や氣志團万博など、市外から人が集まるイベント時に、QRコードで簡単に市をフォローできるような看板などを設置し、フォローしてもらえれば、袖ヶ浦市の魅力が伝わりやすくなると思う。若者はQRコードの使用頻度が高いので、積極的に取り入れた方がいい。



・Y o u T u b eの動画や、SNSなど、気軽に若者が見られるようにすると興味を持つと思う。

・若者を集めるには、食べ物のフェスがいいと思う。市内の飲食店が一堂に会し、一食あたりの量を少なくして何食も食べられるようにし、市の味を楽しませるのはどうか。

- ・袖ヶ浦市の売りである豊かな自然の中で行う肉フェスなどがいいと思う。

### 30周年記念イベントの案について

- ・近未来を感じることでできる、プロジェクションマッピングなどデジタル融合のフェスがいいと思う。
- ・40周年、50周年となった時の理想像を、市民から集めるような企画はどうか。
- ・市民にアンケートを取って、未来の袖ヶ浦市について聞いてみる。
- ・小中学生に対して、これからみんなが作っていききたい未来について聞く。



・豊かな自然など、変えてはいけなところはそのまま残しつつ、進化できるようにする。

・袖ヶ浦市の30年間は、自然を大切にしてきた30年だったと思う。これからも自然は豊かなままで、施設も作るなど、両方を追及していく。

- ・10年おきに、市主催のスポーツ大会を開催したらどうか。
- ・地産地消の食べ物でご当地グルメを作ったらどうか。例としては、サトイモでタピオカなど、昔から地元で伝わる食材で、先端のグルメを作る。
- ・まちを象徴する木をうえ、10年ごとのイベントの際には大きくなった木をライトアップするなど盛り上げる。

### 市長から

今日は、色々な意見を聴かせてもらいありがとうございました。

これからの市の発展のためにどうあったらいいのかなど、たくさんの考えを聞かせてもらうことができました。

待機児童の件など、市のことを良く調べてくれていると思います。

待機児童については、市でも解消しなくてはならない課題だと考えていますので、今後、ニーズに応えるべく努力していきたくと思っています。

また、道路の舗装等、改善すべき点については、担当課に確認させます。知らせてくれてありがとうございます。これからも気づいたことがあれば知らせてください。

市では、市のPRのため、様々なことに取組んでいて、情報発信についても、日々検討をしています。今日、皆さんからは、SNSのどのツールをメインに使っているのか、また、行政の固い言い回しではなく、緩い感じも必要だと教えられたので、これから挑戦していきたくと思っています。

